

# 2011学年度 米山奨学生選考面接

米山奨学委員会

副委員長 **武島 秀吉**  
(大阪御堂筋RC)

日時：平成23年1月15日(土) 10:00～16:00

場所：(独)日本学生支援機構大阪日本語教育センター

参加者：松本G、若林PG、高島GN、磯田委員長、武島副委員長、  
村橋、米田、田中、西谷、吉田、有竹、和田、大西、小山、榊原各選考委員

先日、毎年我々地区米山委員会メンバーが最も緊張し、懸命に行う2011学年度米山奨学生選考面接が行われました。

正月気分も抜けぬうち、この日ばかりは気合を入れた選考委員は、優秀で、かつ今後もロータリーの奉仕の精神を共有してくれる奨学生を選びたいと勇んで集りました。

今回は中国をはじめ、韓国やベトナム、ミャンマー、イラン、シンガポール、マレーシア、台湾、インドネシアから来日している留学生で、総勢59名。松本G、若林PG、高島GNと地区委員が選考委員に委嘱され、4カ所に分かれて1人20分たつぷりと面接を行いました。

殆どの選考委員は何度か面接経験が有るので、あらゆることを想定した質問が用意されていたようです。また、国同士の関係が面接に影響しないよう、人物本意で選考するという点を選考委員全員が確認しながら行いました。米山奨学制度で求める優秀とは「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2)異文化理解(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。しかし、20分の面接時間では人物評価に誤りが無いとは言えないのでは、という思いもあり、選考委員メンバーは人物をしっかり見極めようと真剣な面接をいたしました。

夕方4時頃には全員終了し、気持ちの良い疲れに見舞われておりました。

今回も応募者は中国からの留学生が目立っておりましたが、現在の日本の留学生状況を見た時には致し方が無いように思われます。

晴れて奨学生として皆様のクラブにお世話になる時には、何卒よろしくお祈りいたします。

